



国際ロータリー第2800地区

会長 加藤 功
幹事 富樫 松夫

鶴岡ロータリークラブ

超私の奉仕

例会日：毎週火曜日 午後12:30～1:30
例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡
事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

第2299回 例会会報 平成18年1月10日(火) 雪(本年度 第25回)

会長報告

加藤 功

皆様、明けましてお目出度ございます。本年後期もよろしくお願いいたします。

庄内の農業機械企業である、秋山鉄工所、(株)今間製作所の創業者について紹介します。

秋山鉄工所の創業者・秋山好市

1891(明治24)～1969(昭和44)年。鶴岡市紙漣町(現大東町)に生まれる。生家貧しく、小学3年を終わると押切釣具店に年期奉公に入る。努力家で創意工夫に優れ、釣針製作では大人の3倍近い能率を示した。その努力が発明家の斎藤外市に認められ助手となる。その後独立して釣具店を経営。8台の機械を自作して、大山駅前に工場を設立。また、下肴町(現本町1丁目)に秋山商会を設立。粉摺機の販売普及に尽力しながら農機具の発明改良に努め、大宝寺に工場を設立。八千代式大豆粉砕機、秋山式粉摺機、複胴式脱穀機など次々に発明。全国動力耕耘機比較試験1位となる。農機具発達への貢献が認められ昭和44年に藍綬褒章受章。(参考文献「庄内日報」1988.5.3)

今間製作所の創業者・今間壮太郎

1900(明治33)～1976(昭和51)。鶴岡市七日町(現本町2丁目)酒造業(銘柄・鶴泉)の長男として生まれる。少年の頃から創意工夫に意を用い、種々の発明や考案をして注目を集めた。22歳で帰郷し宝町に今間鉄工所(のち今間製作所)を設立。1940(昭和15)年から連続して市議員をつとめる。太平洋戦争中は地元軍需工場として大きな業績を残し工場を宝町から泉町に移転。1952(昭和27)年より20年間鶴岡商工会議所会頭をつとめる。同年(株)今間製作所を設立。発明協会、経団連その他より度々表彰を受け、1958(昭和33)年紫綬褒章受章。次いで勲4等旭日小授章。主要農機具の製作は、大豆粕自動砕組機(全国比較審査第1位官報)、人力用唐箕、今間式米選機、人力用粉摺機、無排塵脱穀機複胴型、投げ込み

製縄機など。1970(昭和55)年、今間式コンバイン、コンマハーベスターの画期的開発に成功、全国各地から注文が殺到した。農業機械の画期的な改良開発によって我が国農業機械化と農業近代化の推進に偉大な功績を残した。彼の生涯は優れた天性と才能に加え誠実温厚、そして熱烈な郷土愛をもって貫かれたものであった。(参考文献「庄内日報」1988.5.14、「庄内人名辞典」302頁、「今間壮太郎翁の生涯」1977(昭和52)年)

年男
スピーチ

花咲グランパーズ

—木質バイオマス利用と森づくり—

塚原 初男

1. はじめに

自分の専門は雪国の森づくり(豪雪地造林学)で、健康で樹勢の旺盛な高木林の造成を目指してきた。手入れ不足林や健康とは程遠い森林が周囲にあふれている。この機会に今年もこだわり続けたい事を述べる。



2. 日本の木材自給率事情

現在日本では、年間1億8千万m³の木質バイオマス(枝、葉、幹、樹皮、根株、根など樹木組織全体)が光合成産物として生産されている。その約50%は木材資源として利用可能で、消費量もそれに匹敵する位あるが、外材消費量が著しく多い。国産材自給率は僅かに18%に過ぎない。日本の著しく低い木材自給率事情や森林セラピー等森林の公益的機能への期待から、次の3課題が考えられる。

- ①間伐材利用先の事前決定や外材利用量の抑制等、国産主伐・間伐材の利用促進
- ②山から伐り出された未利用木質バイオマス資源の有効利用促進
- ③手入れ不足林解消等森林の健康回復と健全性持続

3. 国産主伐・間伐材の利用促進

地元産の木材は地元で消費しようという地産地消や地元産の木材で家屋を建築して地元に住まいしようという地材地住を合言葉とする国産主伐・間伐材利

車が動いていない時は

ストップ! アイドリング

用促進事例。①飯豊町化石エネルギー軽減式地材地
住モデルハウス、②雪国初の棚田式グリーンベンチ試
験施工(新庄試験地)

4. 木質バイオマス資源の有効利用促進

やまがたウッドリサイクル協会に所属する五十嵐
特殊建設(株)の「エコールソイル」、阿部林業(株)の「ペ
レット」などの好例がある。

5. 仮説・森林満員電車論

マツ枯れ・ナラ枯れの初因には、長年の手入れ不
足由来の過密林状態や最近約 20 年間も続く酸性雨
(雪)の累積作用が無視出来ない。満員電車に乗った
時と同様の過密状態になると、生理的衰弱状態とな
り、害虫の侵入が容易になるという仮説が森林満員
電車論である。

6. 平成の花咲グランパ

金山町の(有)匠まさの・正野正剛(77歳)さんは、
スギ間伐材の木炭粉末と焼き白土の混合物である新
しい土壌改良材「すばい」を開発した。pH = 7.5
の「すばい」効果は、土壌の酸性緩和が検証済みで、
樹木への害虫の集中飛来を攪乱する可能性や、樹勢
を回復させる可能性、土壌微生物相の発達や菌根共
生に好影響を及ぼす可能性などが期待されている。

有効性が検証されると、正野さんは平成の花咲爺
さん、又は花咲グランパと呼ばれるにふさわしい。

7. 原料確保が成功のカギ

県内産木質バイオマス利用の成否は、原料確保や
原料収集が如何に短縮できるかにかかっている。

8. おわりに

正野さんの花咲グランパーズの仲間に加えて戴き
乍ら、これからも、ダメ元試行錯誤実験にトライし
て行けたらと願っている。

第7回理事会報告

1. クリスマス家族例会収支報告書

収 入 登録料 160,000 補助金 108,051
支 出 合 計 268,051

2. たら汁家族例会

1/24(火)坂本屋(三瀬)PM6:00開会
登録料 会員 4,000円 家族 2,000円
友好クラブ会員 4,000円 宿泊料別

3. 鶴岡ロータリークラブ細則検討委員会設置

構成委員メンバー

加藤 功君 丸山隆志君 秦 幸助君
藤川享胤君 富樫松夫君 斎藤 昭君以上6名

4. ガバナーエレクト事務所より06~07年度地区委員候補者の推薦協力の依頼

内容:1/10迄 1~3名を当クラブより推薦

依頼のお願い

5. 家族例会

鱈汁例会 1/24(火)鹿兒島西RC等姉妹友好クラブとの

友好例会 蕎麦打ち例会 3/28(火)黒豚を楽

しむ例会 4/18(火)孟宗汁例会 5/23(火)

6. 台中港区扶輪社35周年記念式典

5/12(金)予定 詳細は別途確認後

7. 東京東江戸川RC、夜桜例会を計画中

委員会報告

●出席委員会

委員長 阿蘇司朗

本日の出席		前々回の出席	
会 員 数	47人	出 席 率	59.09%
出 席 数	37人	修正出席数	30人
出 席 率	84.09%	確定出席率	68.18%

●メイクアップされた方

藤川享胤君・本間昭吉君・斎藤 昭君

富田喜美子君・若生恒吉君

●ビジター

石黒慶一(鶴岡西RC)・藤谷 隆(温海RC)



石黒慶一君(鶴岡西RC) ガバナーとして皆様方に
御支援頂きましたことに心よりの感謝申し上げ
ます。新年の挨拶の時間を作って頂きありがと
うございました。

阿部信矢君 今年は月一回以上出席目指し、頑張り
ます。

富樫松夫君 ○石黒ガバナー例会参加有難うござい
ます。○例会参加有難う。次回からの例会の参
加もよろしく。○塚原理事(年男)おめでとう。
スピーチ有難うございました。

加藤 功君 本日わざわざ石黒ガバナーの出席を頂
きまして有難うございました。これからも鶴岡
RCの行動にご指導、ご鞭撻のほどよろしくお
願います。

阿蘇司朗君 恒例の空手道の寒稽古が湯野浜海岸で
1/8無事終わりました。この日は前を走ってい
る人が見えないほどの風雪で、一年生の女の子
2~3人から泣かれました。今まで経験がな
かったと思われる日でした。

佐藤孝子君 実家の両親が今年から鶴岡の住民とな
りました。よろしく!塚原先生スピーチありが
とうございました。

藤川享胤君 ○石黒ガバナーのメイクを歓迎致し
ます。○13日よりヴィチャイ・ラタクル元RI
会長の招待を受けタイに行って参ります。